

Ⅲ－４ 平成28年度学校関係者評価結果

様式第3号（第8条関係）

平成29年 3月30日

平成28年度 稲築西小学校評価

【学校教育目標】
夢の実現に向け、友だちと共に、元気に学ぶ児童の育成

【本年度の重点目標】
 ー学校経営ー
 ・ 協働体制の確立(評価90P以上)
 ・ 校内研修の充実(授業研全担任実施)
 ・ 学校環境の整備(評価95P以上)
 ー教育指導ー
 ・ あいさつのできる子どもの育成(評価70P以上)
 ・ 基礎学力の向上(NRT学力検査1Pアップ)
 ・ 称賛活動の推進(評価90P以上)

領域	項目	評価指標	自己評価	自己評価を踏まえた改善策	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策
組織運営	校内組織運営の充実	学校の教育目標や教育方針が明確に示されているか。 <結果>教員のAB評価89%(－4) 本年度の重点等についての共通理解と共通実践には成果が感じられるが、日々の問題に関しての方針の打ち出しが迅速さに欠けていたことが数値に反映されていると考える。	4	・ 具体を示しての十分な共通理解のもと、取組を推進することを継続するとともに、日々の問題に関しての方針の打ち出しを迅速に行う。	・ 適切に評価されています。 ・ 改善策の徹底をお願いします。	・ 具体を示しての十分な共通理解のもと、取組を推進することを継続するとともに、日々の問題に関しての方針の打ち出しを迅速に行うことを徹底する。
		校務分掌組織において、各分掌部会内の係りが内部で連携し、協働体制で部会の取組を行っているか。 <結果>教員のAB評価89%(－4) 各分掌部会の活動の円滑化は進んだが、学年経営の評価・改善について十分とは言えないことが評価につながっていると考える。	4	・ 連携と協働体制の確立に向け、ミドルリーダーに対し、各分掌組織の円滑な実働と一層の機能化に向けた働きかけを継続する。 ・ 学年経営の充実を目指し、評価・改善シートの活用を継続する。	・ 適切に評価されています。 ・ 複数の問題が併発した場合への体制整備をお願いします。	・ 連携と協働体制の確立に向け、ミドルリーダーに対し、各分掌組織の円滑な実働と一層の機能化に向けた働きかけを継続する。 ・ 学年経営の充実を目指し、評価・改善シートの活用を継続するとともに、問題への迅速対応を徹底する。
		学習環境整備に努めているか。 <結果>教員AB評価82%(－1) 昨年同様、学級や学年、委員会など、様々な活動についても取組の足跡を残し、子ども達が頑張りを実感できるよう環境整備を継続できたことが数値に反映されていると考える。	4	・ 学習の成果を子どもたち自身が実感できるよう、より一層の学習環境整備の工夫を継続するとともに、分割授業等や取り出し授業で使用する学習室の環境整備を推進する。	・ 適切に評価されています。 ・ 経験の浅い先生方も含め、職員の皆さんの努力が感じられます。取組を継続してください。	・ 学習の成果を子どもたち自身が実感できるよう、より一層の学習環境整備の工夫を継続するとともに、分割授業等や取り出し授業で使用する学習室の環境整備を推進する。
教育課程・学習指導	確かな学力	子ども達は、学校を楽しく感じて登校してきているか。 <結果>児童AB評価86%(－1) 問題行動やトラブルはあるが、クールダウンの時間を保障したり、迅速に解決を図ったりすることで、速やかに楽しい活動に復帰できていることが評価につながっていると考える。 勉強を楽しんでいると感じながら、取り組んでいるか。	3	・ 鍛えてほめる福岡メソッドの本格導入を図り、児童が自分の居場所づくりを意欲的に行う教育活動の創造に努める。	・ 適切に評価されています。 ・ 家庭生活の影響にも注意を払いながら取組をお願いします。	・ 鍛えてほめる福岡メソッドの本格導入を図り、児童が自分の居場所づくりを意欲的に行う教育活動の創造に努める。
		学力実態に即した学習形態や授業づくりの工夫はあるが、落ち着いた学級の雰囲気の数値の低下につながっていると考えられる。	3	・ 落ち着いた雰囲気を取り戻すことを意識し、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業改善を一層推進するとともに、子ども達が達成感や充実感を覚えるよう習熟度別学習や取り出し授業等を継続実施する。	・ 適切に評価されています。 ・ 適切な学級編成をお願いします。 ・ 落ち着いた原因の究明を行うとともに、習熟度別学習や複数体制での対応を効果的にして行ってください。	・ 落ち着いた雰囲気を取り戻すことを意識し、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業改善を一層推進するとともに、子ども達が達成感や充実感を覚えるよう習熟度別学習や取り出し授業等を継続実施する。
		基礎学力の定着ができていますか。 <結果>NRT学力検査50.6ポイント(－1.8) 年度毎の実態により数値の低下はあるが、実施を見通しての粘り強い繰り返し学習や学年毎の課題克服の取組が成果を生み出したと考える。	4	・ 学力向上コーディネータのリーダーシップのもと 授業改善はもとより、反復学習等、日々の取組について確かな共通理解と共通実践の徹底を継続する。	・ 適切に評価されています。 ・ 保護者や地域も活用しながら粘り強く取り組んでください。	・ 学力向上コーディネータのリーダーシップのもと 授業改善はもとより、反復学習等、日々の取組について確かな共通理解と共通実践の徹底を継続する。
		思考力・判断力・表現力の育成ができていますか。 <結果> 教員のAB評価76%(+10) 知識・理解の定着に向けた取組を土台にし、思考力・判断力・表現力の育成を意識した取り組みの成果に手応えがはじまっていると考えられる。	3	・ 言語活動の充実を図りながら、「問いづくり、思考づくり、価値づくり」のある授業をめざして校内研修を展開し、組織的に授業改善を図っていく。 ・ 主体的・対話的な深い学びを目指した授業の創造に努める。	・ 適切に評価されています。 ・ 新たな取り組みに期待します。	・ 言語活動の充実を図りながら、「問いづくり、思考づくり、価値づくり」のある授業をめざして校内研修を展開し、組織的に授業改善を図っていく。 ・ 主体的・対話的な深い学びを目指した授業の創造に努める。
		家庭学習に取り組んでいるか。(学年×10) <結果>児童AB評価83%(－3)・提出率77%(－10) “新”家庭教育宣言の取組の中に位置づけて3年目となり、軌道に乗ったと捉えて、意識付けが不十分であったことが提出率の低下につながっていると考える。	3	・ メディア依存の予防を意識した家庭との連携・協力を維持しながら、学習習慣の定着を推進する。 ・ 節目を利用し、児童の意識付けを確実にやっていく。	・ 適切に評価されています。 ・ 家庭への働き掛けをよろしくお願いします。	・ メディア依存の予防を意識した家庭との連携・協力を維持しながら、学習習慣の定着を推進する。 ・ 節目を使用し、児童の意識付けを確実にやっていく。
		一週間に一冊以上の本を読んでいるか。 (図書利用指導に取り組んでいるか。) <結果>児童AB評価73%(－1) 横ばい傾向が続いており、意識の高揚につながる学校としての取組が作り出されていないことがうかがえる。	3	・ 学校の取組として強化週間を設定するなど、読書活動への興味や関心を高めるための新たな取組を模索する。	・ 適切に評価されています。 ・ 家庭での読書のための時間の確保には、困難さを感じられます。メディアと切り離されている学校での取組の工夫に期待します。	・ 学校の取組として強化週間を設定するなど、読書活動への興味や関心を高めるための新たな取組を模索する。
		気持ちのよい言葉遣いに気を付けているか。		・ 児童会によるほわほわ言葉とチクチク言葉の取組を継続しつつ、気持ちの良い言葉遣いに対する評価活動や称賛活	・ 適切に評価されています。 ・ 低学年からの意識付けをお願いします。	・ 児童会によるほわほわ言葉とチクチク言葉の取組を継続しつつ、気持ちの良い言葉遣いに対する評価活動や称賛活

心の教育・たくましい体力	<p>〈結果〉児童AB評価81%(−3) 落ち着いた雰囲気や荒々しい言葉や不用意な発言を引き出しており、相手の気持ちへの意識が薄らいでいることが評価につながっていると考えられる。</p> <p>元気よくあいさつできているか。</p>	3	動を新たに展開する。	<ul style="list-style-type: none"> 一部の子供達の望ましくない面が表立っている可能性があります。児童会の取組の継続に期待します。 	動を新たに展開する。
	<p>〈結果〉児童AB評価79%(−6) が軌道に乗っていることに加え、ボランティアの方々と交わす朝の挨拶や推進組織の取組には進展がみられるが、児童相互のあいさつについて進展が認められないことが数値の</p> <p>道徳の時間の授業の充実に努めているか。(発問・教材・教具の工夫と活用)</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> 児童相互の挨拶の活性化を目指した取組を創造する。 児童の意識の継続を図るため、児童会による挨拶運動と挨拶作文を継続実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 児童会の挨拶週間の取組の拡大に期待します。 低学年からの意識付けをお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童相互の挨拶の活性化を目指した取組を創造する。 児童の意識の継続を図るため、児童会による挨拶運動と挨拶作文を継続実施する。
	<p>〈結果〉教員AB評価75%(+9) 特別の教科 道徳の研修が実施できたことで、今後の指導への展望が持たれたことが評価につながっていると推察される。</p>	3	「特別の教科 道徳」の実施に向けた組織的な研修を今後も継続実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 先生方の研修をよろしくお願いします。 	「特別の教科 道徳」の実施に向けた組織的な研修を今後も継続実施する。
	<p>〈結果〉教員AB評価43%(+9) 関係機関からの協力を得て、授業場面に即した校内研修を複数回実施できたことが数値の伸びにつながっていると考える。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> 係のリーダーシップのもと、今後も組織的な研修を継続実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 難しい面があると思いますが、継続をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 係のリーダーシップのもと、今後も組織的な研修を継続実施する。
生徒指導・人間関係	<p>友だちにやさしく接しているか。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> 児童が互いの良さを認め合う支持的風土に満ちた学級づくりに向けて、学級や学年の実態に即した取組を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 取組の継続をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が互いの良さを認め合う支持的風土に満ちた学級づくりに向けて、学級や学年の実態に即した取組を継続していく。
	<p>〈結果〉児童AB評価87%(−3) 日頃の自信の言葉づかい等に関する意識から数値が抑えられていると推察できる。</p>				
	<p>子ども達の話に耳を傾けるようにしているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 教師の基本姿勢として来年度も意識を絶やさず、継続を貫く。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 忙しい時もあると思いますが、子ども達との対話をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師の基本姿勢として来年度も意識を絶やさず、継続を貫く。
	<p>〈結果〉教員AB評価96%(−4) 学習の躓き等に留まらず、いじめや不登校の未然防止に向けても丁寧な対応を展開していることがうかがえる。</p>				
生徒指導の徹底	<p>学校のきまりや約束を守る子どもを育てているか。</p>	2	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、正しい行動を自ら選択できる力を育てるために、行事や児童会活動等と関連付けた取組を創造していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 特に高学年への指導をよろしくお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が、正しい行動を自ら選択できる力を育てるために、行事や児童会活動等と関連付けた取組を創造していく。
	<p>〈結果〉教員AB評価54%(−29)・児童AB評価72%(−8) 良きモデルとなるべき高学年の間で、生徒指導上の問題が頻発したことが数値の大幅な低下につながっていると考えられる。</p>				
	<p>いじめや不登校児の対策をたてて予防に努めているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 鋭い感覚を持って些細な記述でも、気になる内容や情報については、必ず聞き取りを行い、保護者との情報共有に努めることを継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 保護者との連携をよろしくお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 鋭い感覚を持って些細な記述でも、気になる内容や情報については、必ず聞き取りを行い、保護者との情報共有に努めることを継続していく。
保健・安全管理	<p>安全・安心な学校づくり 日々の生活における健康安全に留意した的確な指導ができているか。</p>	3	<ul style="list-style-type: none"> 危険が感じられる校内の環境をいち早く整える。 健康・安全と学校の約束やきまりを守ることを関連付けながら、落ち着いた学校生活を維持できるよう指導を継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 地域の協力を得ながら環境整備を進めてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険が感じられる校内の環境をいち早く整える。 健康・安全と学校の約束やきまりを守ることを関連付けながら、落ち着いた学校生活を維持できるよう指導を継続していく。
	<p>〈結果〉教員AB評価89%(−8) 約束やきまりをおろそかにしてけがに至る子どもの数は、引き続き減少しているが、環境整備が追い付いていないことが評価につながっていると考える。</p>				
研修	<p>主題研究が計画的に進んでいるか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 本年度の経験を生かし講師等の力量を考慮した研修計画を立てる。 一般研修とのバランスを図りながら研修計画を作成するとともに、研修の成果を生かし、本校の教育課題の克服に向けた適切な主題研修を展開していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 若い先生方の意欲が高まる研修をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 本年度の経験を生かし講師等の力量を考慮した研修計画を立てる。 一般研修とのバランスを図りながら研修計画を作成するとともに、研修の成果を生かしながら、本校の教育課題の克服に向けた適切な主題研修を展開していく。
	<p>〈結果〉教員AB評価89%(−8) 経験の少ない講師が多いことで、主題への理解の徹底が図れなかったことが数値からうかがえる。</p>				
	<p>指導力を高めるために自ら研修の機会を求めているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 県教委主催の専門研修や実践的指導力の向上につながる研究発表会等について、積極的な参加を奨励を今後も継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 先生方の意識の高まりがうかがえます。頑張ってください。 	<ul style="list-style-type: none"> 県教委主催の専門研修や実践的指導力の向上につながる研究発表会等について、積極的な参加を奨励を今後も継続していく。
地域の連携	<p>保護者や地域との信頼関係づくりを積極的に行っているか。</p>	4	<ul style="list-style-type: none"> 細やかな家庭訪問を継続していく。 地域行事やPTAの活動への積極的な参加を心がけ、意思の疎通が円滑に図れる関係づくりを継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に評価されています。 保護者の学校教育への関心が広がるよう取組の継続をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> 細やかな家庭訪問を継続し、子ども達の成長を伝えていく。 地域行事やPTAの活動への積極的な参加を心がけ、意思の疎通が円滑に図れる関係づくりを継続していく。
	<p>〈結果〉教員AB評価93%(+7) トラブルの解消のみならず、児童の成長を伝えるために、細やかに家庭訪問を実施したことが数値に反映されていると考える。</p>				